

令和7年度 第1回浜松市幼児教育推進協議会 議事要旨

1 開催日時・開催場所		令和7年6月11日(水)午後3時00分から午後4時30分 ザザシティ浜松中央館5階大会議室			
委員・有識者	氏名(敬称略)	所属等	氏名(敬称略)	所属等	
	1 島田 桂吾	学識経験者 静岡大学大学院教育学研究科准教授	8 清水 幸枝	市立保育所・認定こども園 佐鳴台こども園園長	
	2 伊藤 いかよ	私立認定こども園 和光こども園園長	9 坂本 友彦	市立小学校 三ヶ日西小学校校長	
	3 山崎 亜佐美	私立幼稚園 浜松学院大学付属幼稚園園長	10 山崎 拓也	幼稚園・保育所・認定こども園保護者代表	
	4 竹内 映晴	私立保育所 まつのき保育園園長	11 中嶋 康人	幼稚園・保育所・認定こども園保護者代表	
	5 島田 さち子	地域型保育事業所 あいあい保育ルーム園長	12 野田 志保	こども家庭部長(委員長)	
	6 稲垣 さとみ	認証保育所 はままつ保育園 保育士	13 吉積 慶太	学校教育部長(副委員長)	
	7 名倉 由美	市立幼稚園 宮口幼稚園園長	14 青島 治道	教育センター所長	
3 主な意見・質問等					
1 幼児教育・保育の質の向上について					
<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料については、園内研修で活用している。こどもへの関わりのポイントや保育とはどういうものであるかの意図、幼児教育としての共通性及び小学校教育との連続性の確保についても分かるようになっており、若手の職員をはじめ、職員にとっては分かりやすく活用しやすい資料となっている。 「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料は、指導計画作成時に環境構成や援助のポイント、こどもの姿に合わせての配慮事項等の記載内容や年齢別のこどもの姿に合わせて使用し、園の全職員が活用している。 幼児教育の質の向上という話が出ているが、質というよりも量と思うところがある。「はますくファイル(ノート)」の利用についても、実際にはどのような時に使われるのかがよく分からないところもある。 「はますくファイル」については、実際には小学校への提出はないが、小学校1年生の生活科の授業で幼少期のこどもの生い立ちを振り返る機会があり、実際にはその時に活用されている。「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料については、学校により活用状況が様々である。 「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料は、園での懇談会時に保護者に対して、こどもへの関わり方等を伝える際に「家庭に伝えるポイント」の部分を活用している。経験年数が少ない職員がわかりやすくまとめられており、具体的に伝えることが出来ている。 					
2 浜松市版「つながる」カリキュラム参考資料について					
<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料について、小学校側の活用状況は様々であるが、令和4年と比較すると活用校の数が増えている。今後、生活科の主任研修等で活用していけるとよいと思う。 昨年度、幼児教育推進協議会で検討し作成した「浜松市版『つながる』カリキュラム参考資料」については、就学前施設、小学校ともに活用状況は様々である。今後の幼保小の連携研修等において、活用の仕方を啓発していく必要があると考える。 「幼児教育と小学校教育の接続に関する研修会」を、9月に実施する予定である。研修内容としては、就学前施設の教職員と小学校の教員との協議の場をつくることを検討している。 「つながる」カリキュラム参考資料の内容については、二次元コードを読み込むと、活用マニュアルのPDFデータが表示されるようになっている。0歳児から5歳児までの学びのつながりが分かるような仕組みになっているため、小学校の授業の中にも園でのこどもの活動が反映していけると、幼児期のこどもの様子の理解がより深まるのではないかと思っている。 					
【まとめ 島田先生より】					
<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育推進協議会の開催については、平成29年から昨年度までの経緯がある。浜松市内就学前施設は各種別様々な施設があり、まずは施設を知ろうというところから始まった。施設見学があり、「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料の作成があり、「幼児期に育てたい力」のリーフレットがあり、「はますくファイル」は大きくて持ち運びが大変だという保護者の意見等から、「はますくノート」の大きさに見直しがあり、母子健康手帳と同じ大きさになった。「幼児期に育てたい力」の冊子は小学校の先生方にとっても使いやすいよう、「つながる」カリキュラム参考資料の作成に至った経緯がある。 浜松市内の就学前のこどもは、園は違えど、公私立、小規模の保育施設や企業主導型保育事業施設で育ってきても95%のこどもは公立の小学校へ入学をしていく。幼児教育の多様な学びはあるが確立まではいかないところがある。それをオール浜松として、「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料、「浜松市版『つながる』カリキュラム参考資料」等の資料については、今後、使い方を学び、うまくいかないこともうまくいくことも成果であると思っている。 					
4 今後について	<p>(1) 開催日時及び場所について 令和7年10月6日(月)午前中 浜松学院大学付属幼稚園</p> <p>(2) 内容 ・保育参観 ・参考資料の提案及び協議</p>				